

2023. WINTER

vol. 185

発行日/令和5年12月9日発行

# 明るい 漁村

- 2 漁業協同組合JFしまね  
第18回通常総代会
- 3 令和4年度決算状況
- 4 令和5年度事業計画
- 6 TOPICS
- 8 第43回島根県海の子絵画展



第二十二事代丸（JFしまね西郷支所所属：中型まき網漁業運搬船（293トン））

A K A R U I G Y O S O N



イメージキャラクター とび丸くん

# 第18回通常総代会

**総**代会は冒頭に岸 宏JFしまね  
会長の挨拶で開会、議事に移り  
ました。

議長には隠岐地区・大西寿春総代が  
選任され、以下の通り審議がなされま  
した。

- 第一号議案 令和4年度事業報告  
及び剰余金処分案に関する件
- 第二号議案 令和5年度事業計画  
に関する件
- 第三号議案 令和5年度における  
借入金の最高限度に関する件
- 第四号議案 会計監査人の選任に  
関する件
- 第五号議案 令和5年度における  
理事及び監事の報酬に関する件
- 第六号議案 令和5年度賦課金の  
徴収に関する件
- 第七号議案 出資配当金を増資に  
充当する件

提出された全七議案とも原案通り  
承認され、総代会は終了しました。



隠岐地区 大西寿春 議長

JFしまね 岸 宏 会長

去る6月30日(金)午前10時よりホテ  
ル白鳥(松江市千鳥町)において、出席総  
代109名(内本人出席58名、委任状によ  
る出席5名、書面による出席46名)によ  
り第18回通常総代会が開催されました。

## 第18回通常総代会挨拶

代表理事会長 岸 宏

開会に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。  
本日第18回通常総代会を開催致しましたとこ  
ろ、総代皆様方には何かとご多繁の央ご出席を  
賜わり、厚くお礼を申し上げます。

令和4年度の漁業をめぐる環境は、社会生活に  
大きな影響を生じた新型コロナウイルス感染症も  
年度末には新規感染者が大幅に減少したこと  
により、各種事業活動が復活し水産物の消費・販売  
にも回復の兆しが見え始めました。

一方、ロシアによるウクライナ侵攻に起因する  
国際状況の悪化に伴う原油市況の上昇、及び記  
録的な円安傾向は物価、燃油・資材価格の高騰  
等を招来し厳しいものがありました。

このような中で本県漁業の総漁獲量は  
9万8,000トン、総生産額は177億円とマ  
イワシの増加や堅調な魚価に支えられ、漁獲量  
で前年比10%、生産額で前年比18%の増加とな  
り、共販事業取扱高も200億円台に復活。漁業  
種類別でも旋網、沖底、小底、定置等が前年を  
上回り明るい兆しが見えた1年でありました。

一面、漁業生産コストの大宗を占める燃油価格  
については、国際的な原油市況の逼迫により急激  
に上昇し年間を通じて@90/L@100/L台  
の高値で推移しましたが、激変緩和漁業経営セー  
フティーネット構築事業による燃油価格補てんが  
全期間で発動すると共に、本年1月から元売りに  
対する国の燃油価格激変緩和補助金の交付が開

始され、供給価格がある程度抑制できた事は漁業  
経営に対する大きな支えでありました。

このような中で、私共は浜の活力再生プラン  
に基づき水産業の競争力強化と所得向上に取組  
むための「漁船リース事業」や「機器導入対策  
事業」に加えて、水産業成長産業化沿岸地域創  
出事業(所謂新リース事業)を積極的に活用推  
進して参りました。

また、大きな課題でありました大田支所の販売  
体制の見直しにつきましては、後程詳細ご報告申  
上げますが、朝市移行後3年が経過し、水揚  
高・魚価等が逐年向上計画通り推移して、機動的  
な操業体制と販売体制が確立された事は関係各  
位のご協力の賜で厚くお礼を申し上げます。

尚、島根県からの法令違反等による改善命令  
については、県に提出した業務改善計画の着実  
な実行と適正な業務運営に努めて参る所存であ  
ります。

また、境港支所不祥事案については、改めて皆  
様方に深くお詫び申し上げますとともに第3者調  
査委員会の調査結果、再発防止等の提言をふま  
えた管理責任を履行、作成した不祥事等再発防止策  
等を着実に実践し、組合員、利用者の皆様の信頼  
回復に努めて参る所存であります。

このような中で、組合経営につきましましては、  
より効率的な運営と共販事業等の拡大に役職員  
一丸となって取組んだ結果、今年度は経常利益  
287百万円、当期剰余金251百万円を計上、  
剰余金処分案としては法定内部留保53百万円、  
任意積立金50百万円、出資配当金31百万円、事業  
分量配当72百万円、教育情報資金を含む次期繰  
越剰余金50百万円の内容で上程しています。こ  
れも偏に組合員各位及び関係各機関のご協力の  
賜であり深く感謝申し上げます。

本総代会には令和4年度決算及び令和5年度  
事業計画等諸案件を上程していますので、充分ご  
審議のうえ原案ご承認頂きますようお願い申し  
上げ、開会のご挨拶とさせていただきます。

令和4年度

## 決算状況

令和4年度決算の概況は次のとおりです。  
本組合事業にご協力賜りました組合員各位、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

## 貸借対照表

□令和5年3月31日現在

(単位:円)

資 産		負債及び純資産	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
<b>1 信用事業資産</b>	<b>36,042,475,399</b>	<b>1 信用事業負債</b>	<b>36,592,985,284</b>
<b>2 共済事業資産</b>	<b>1,386,463</b>	<b>2 共済事業負債</b>	<b>26,722,940</b>
<b>3 流動資産</b>	<b>2,040,547,886</b>	<b>3 流動負債</b>	<b>2,624,348,535</b>
(1) 経済事業未収金	1,739,042,934	(1) 経済事業未払金	2,281,108,108
(2) 経済事業雑資産	50,952,877	(2) 経済事業雑負債	32,462,228
(3) 棚卸資産	489,193,983	(3) 賦課金仮受金	34,002,024
(4) その他の流動資産	54,377,836	(4) 未払法人税等	9,565,131
(5) 貸倒引当金	△ 293,019,744	(5) その他の流動負債	267,211,044
<b>4 固定資産</b>	<b>8,098,798,230</b>	<b>4 固定負債</b>	<b>962,123,046</b>
(1) 有形固定資産	4,025,645,981	(1) 長期借入金	369,400,000
減価償却資産	13,627,620,640	(2) リース債務	0
減価償却累計額	△ 11,737,507,632	(3) 受入保証金	562,274,154
土地	2,135,532,973	(4) 出資預り金	30,448,892
(2) 無形固定資産	1,898,548	<b>5 諸引当金</b>	<b>1,669,684,415</b>
(3) 外部出資	4,066,623,274	(1) 賞与引当金	41,331,115
系統出資	3,566,703,990	(2) 退職給付引当金	1,556,554,300
系統外出資	479,747,780	(3) 役員退職慰労引当金	71,799,000
子会社等出資	20,171,504		
(4) その他の固定資産	614,663,911	<b>6 繰延税金負債</b>	<b>124,169,663</b>
(5) 貸倒引当金	△ 610,033,484	<b>7 再評価に係る繰延税金負債</b>	<b>17,402,006</b>
		<b>負債の部合計</b>	<b>42,017,435,889</b>
		(純資産の部)	
		<b>1 出資金</b>	<b>2,675,090,000</b>
		<b>2 資本準備金</b>	<b>13,536,562</b>
		<b>3 利益剰余金</b>	<b>1,561,539,904</b>
		(1) 利益準備金	785,443,449
		(2) その他利益剰余金	776,096,455
		特別積立金	519,268,359
		当期末処分剰余金	256,828,096
		(うち当期剰余金)	(251,196,702)
		<b>4 処分未済持分</b>	<b>△ 131,280,000</b>
		<b>組合員資本合計</b>	<b>4,118,886,466</b>
		<b>1 評価差額金</b>	<b>46,885,623</b>
		土地再評価差額金	45,511,970
		その他証券評価差額金	1,373,653
		<b>純資産の部合計</b>	<b>4,165,772,089</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>46,183,207,978</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>46,183,207,978</b>

## 損益計算書

□令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額
<b>1 事業総利益</b>	<b>1,791,650,598</b>
信用事業総利益	175,675,837
共済事業総利益	27,741,286
購買事業総利益	471,628,782
販売事業総利益	1,161,716,320
製氷冷凍事業総利益	△ 113,556,926
加工事業総利益	0
利用事業総利益	△ 12,536,130
漁業自営事業総利益	0
指導事業収支差額	80,981,424
無線事業収支差額	5
<b>2 事業管理費</b>	<b>1,644,288,543</b>
(1) 人件費	1,067,841,966
(2) 旅費交通費	9,136,498
(3) 業務費	54,118,691
(4) 諸税負担金	58,156,020
(5) 施設費	328,042,435
(6) 減価償却費	108,776,128
(7) 雑費	18,216,805
<b>事業利益</b>	<b>147,362,055</b>
<b>3 事業外収益</b>	<b>143,479,637</b>
<b>4 事業外費用</b>	<b>12,222,405</b>
<b>経常利益</b>	<b>278,619,287</b>
<b>5 特別利益</b>	<b>618,182</b>
<b>6 特別損失</b>	<b>29,530,944</b>
<b>税引前当期利益</b>	<b>249,706,525</b>
法人税・住民税及び事業税	7,416,000
法人税等調整額	△ 8,906,177
当期剰余金	251,196,702
土地再評価差額金取崩額	5,072,994
当期首繰越剰余金	558,400
当期末処分剰余金	256,828,096

## 事業計画

令和5年度においては中長期的視野に立ち、これまでの成果と反省を真摯にふまえ、JFしまねの将来展望を確かなものにするため、引き続き目標である「組合員所得の向上」、「担い手育成」、「販売事業改革」の実現のため、国の水産業成長産業化沿岸地域創出事業及び水産業競争力強化緊急支援事業等を積極的に活用しながら本県漁業の再構築を目指し、組合員・役員一丸となって取り組むものとする。

## 部門別重点推進事項

## 1. 販売事業

- ① JF市場への組合員全出荷体制の確立に努める。
- ② 販売事業統括部を核とする各支所販売部門間の連携を強化する。
- ③ 組合員への市況等の情報周知と出荷指導に努める。
- ④ 魚食普及・魚価向上・流通経費縮減対策へ積極的に取り組む。

## 2. 購買事業

- ① 燃油価格対策に積極的に取り組む。
- ② 漁業経営安定セーフティネット構築事業の積極活用に取り組む。
- ③ 石油購買事業における物確保と安価供給に努める。
- ④ 魚箱安価供給体制の確立を図る。
- ⑤ 在庫管理の徹底と取扱品目の見直しを行う。

## 3. 信用事業

- ① 貯金量365億円の達成を目指す。
- ② 信用事業リスク体制整備と自己資本比率向上を図る。
- ③ 漁業信用保証業務との連携による漁業経営改善の支援を行う。
- ④ 信用事業店舗の再編整備を行う。

## 4. 共済事業

- ① 共済事業推進検討委員会・共水連との連携によりチョココー28億4千万円、くらし20億8千万円の達成を目指す。
- ② 『チョココー』は、万一の場合など保障をしながら貯蓄機能もあるJF共済を代表する長期の生命共済であり、入院、通院などお客様へのニーズにあった保障が選択できる共済である。万一の場合を一生涯にわたり保障する終身共済

を主体に契約者を拡大し保有高の伸長を図る。

- ③ 『くらし』は、貯蓄をしながら建物や家財などを火災や自然災害から守る総合的な補償で、満期時の満期共済金により増改築時にも役立つ。万一の自然災害の損害に対しても安心できる補償提供を目的に加入者の拡大を図る。

## 5. その他の事業

- ① 冷凍冷蔵事業については、各支所販売部門との連携を強化し、魚価の安定と向上に積極的に取り組むとともに、境港冷凍冷蔵庫を核とする恵曇・浜田・益田各冷凍冷蔵庫稼働率向上と輸出货量増大に努める。
- ② 製氷事業については、販売部門との連携強化による稼働率向上に努めるとともに、境港・大田・浜田製氷工場を核とする氷供給体制を構築する。
- ③ 利用事業については、現施設の利用率の向上に努めるとともに、組合員の利便性を最大限に考えた統廃合を検討する。
- ④ 「JFしまね漁業無線局」を有効に活用し、組合員への気象情報及び海上防災情報、漁海況速報の提

供による海難事故の未然防止と操業効率の向上に努める。

- ⑤ 指導事業については、漁政対策活動としての水産基本政策、県農林水産計画に基づく計画実施への対応、輸入水産物TPPへの対応とともに、200海里水域対策における日韓協定・暫定水域民間協議対策や相互入漁条件交渉対策、違反操業取締対策、暫定水域・EZにおける韓国漁船対策、竹島領土権確立運動の積極的展開と安全操業対策、漁場機能回復管理協力事業「海底清掃事業」及び外国漁船被害救済支援事業「監視活動」の円滑実施を図る。漁業振興対策としての浜の活力再生プランの実践推進、水産業成長産業化沿岸地域創出事業及び水産業競争力強化緊急事業の活用による漁船リース事業、漁具リース事業・機関換装・機器導入事業、産地施設整備事業の実施による漁業構造改革の推進、担い手・後継者育成対策や繁殖保護・漁場管理・資源管理・所得補償対策、営漁指導、生産・販売流通対策、遭難救助・操業安全対策、共済保険の推進、漁業生産力の発展に関する計画の実施等を行う。

# 令和5年度収支計画

□令和4年4月1日から令和5年3月31日 (単位:千円)

科 目	金 額
<b>1. 事業総利益</b>	<b>1,745,139</b>
(信用事業総利益)	177,026
(共済事業総利益)	30,389
(購買事業総利益)	444,740
(販売事業総利益)	979,637
(買取販売事業総利益)	101,532
(冷凍冷蔵事業総利益)	△ 45,388
(製氷事業総利益)	39,675
(加工事業総利益)	145
(利用事業総利益)	△ 21,206
(その他事業総利益)	0
(無線事業総利益)	△ 1,092
(指導事業収支差額)	39,681
事業収益計	12,644,208
事業直接費計	10,899,069
<b>2. 事業管理費</b>	<b>1,653,259</b>
(1) 人件費	1,051,060
役員報酬	56,600
給料手当	713,799
傭人料	64,993
法定福利費	145,251
厚生費	8,564
退職給付費用	54,373
役員退任慰労引当金繰入	7,480
(2) 旅費交通費	16,186
(3) 業務費	74,980
会議費	1,211
接待交際費	120
広告宣伝費	71
通信費	28,441
印刷消耗品費	17,064
図書研修費	4,213
支払報酬	23,860
(4) 租税公課	41,304
(5) 負担金	16,909
(6) 施設費	345,218
保守修繕費	56,669
保険料	24,233
水道光熱費	111,682
賃借料	72,589
消耗備品費	10,292
車輛経費	39,555
施設管理費	30,198
(7) 減価償却費	87,789
(8) 雑費	19,813
<b>事業利益</b>	<b>91,880</b>
<b>3. 事業外収益</b>	<b>116,912</b>
<b>4. 事業外費用</b>	<b>3,222</b>
<b>経常利益</b>	<b>205,570</b>
<b>5. 特別利益</b>	<b>0</b>
<b>6. 特別損失</b>	<b>130</b>
<b>税引前当期剰余金</b>	<b>205,440</b>
法人税・住民税	7,416
法人税等調整額	△ 9,052
<b>当期剰余金</b>	<b>207,076</b>

## 令和5年度賦課金の徴収について

総代会で承認された賦課金の徴収につきましては、次のとおりです。

### □賦課金の金額

正組員 年間3,000円  
 准組員 年間2,000円  
 JFしまね漁業無線局賦課金徴収については、次のとおりです。

### □賦課金の金額

区 分	年 額
<b>漁業種別賦課額</b>	
沖合底曳網 (2そう曳1ヶ統)	216,000円
沖合底曳網 (1そう曳)	108,000円
旋網 (100t以上船1隻あたり)	100,000円
旋網 (100t未満船1隻あたり)	搭載する無線機種別賦課金額とする。
<b>無線機種別賦課額</b>	
27メガ DSB 1W	16,800円
27メガ SSB 25W	30,000円
40メガ DSB 5W	30,000円
40メガ DSB 5W (准加入)	36,000円

※無線機併設船については、高額な方の賦課額とする。

## 令和5年度主要事業取扱計画

□令和5年4月1日から令和6年3月31日

(単位:千円)

部 門	金 額		
経済事業	石 油 類	5,954,937	
	購 買 事 業	資 材 類	763,367
		<b>合 計</b>	<b>6,718,304</b>
	販 売 事 業	受 託 販 売 取 扱 高	19,313,500
		買 取 販 売	2,179,438
		<b>合 計</b>	<b>21,492,938</b>
	冷 凍 冷 蔵 事 業	冷 凍 品 販 売 高	1,073,931
		保 管 料	169,323
		<b>合 計</b>	<b>1,243,254</b>
	製 氷 事 業	氷 供 給 高	453,493
加 工 事 業	加 工 品 販 売 高	600	
利 用 事 業	受 入 利 用 料	73,931	
<b>経済事業総取扱高</b>		<b>29,982,520</b>	
信用事業 (平均残高)	貯 金	36,420,000	
	預 け 金	31,193,000	
	貸 出 金	5,042,000	
共 済 事 業	普通厚生共済(チョコー)	22,000,000	
	長期共済保有高	生活総合共済(くらし)	10,000,000
	<b>合 計</b>	<b>32,000,000</b>	
共 済 事 業	ね ん き ん	22,000	
	乗組員厚生共済(ノリコー)	6,000,000	
	短期共済保有高	火災共済(カサイ)	22,000,000
	<b>合 計</b>	<b>28,000,000</b>	

令和六年度県予算

# 水産業振興支援施策を 丸山知事へ要望

去る9月13日、漁業協同組合JFしまね岸宏代表理事会長と中島謙二副会長は島根県庁を訪れ、丸山知事に対し本県漁業の再構築を目指し、活力と魅力あふれる漁業・漁村となるよう諸施策を要望しました。概要は次のとおり。

## 1 漁業の構造改革及び水産物の高品質化について

- (1) 漁業の構造改革に対する支援について
  - 漁業経営の安定化を図るため、操業コスト削減に向けた省エネ・省力化に繋がる機器や漁具等の導入に対して県からの支援をお願いしたい。
  - 引き続き漁船リース事業や漁具リース事業による漁船や漁具の整備に対する支援をお願いしたい。
  - 特に浜田地域沖合底びき網漁船建造に対する支援をお願いしたい。
- (2) 殺菌冷海水装置の設置に対する支援について
  - 殺菌冷海水装置の設置にあたり、国の補助事業が円滑に活用できるように配慮いただくとともに県からの支援についても検討していただきたい。

## 2 漁業就業者対策について

- (1) 自営漁業の就業者確保対策
  - 自営漁業の就業者の確保対策について、引き続き県の重点事項として取組をお願いしたい。
- (2) 企業の漁業の就業者確保対策
  - 企業の漁業の乗組員の確保対策に



要請書を丸山知事（写真左）に手渡す岸会長（写真右）

## 3 生産基盤の整備について

- (1) 漁場（魚礁や増殖場等）の整備について
  - 効率的な操業が可能となる場所に魚礁・増殖場を設置する等、沿岸漁業の実態に即した計画的な整備をお願いしたい。
  - 藻場減少が進む地区において、その原因を解明し、藻場の造成など有効な藻場対策について早期に検討し、必要な対策を講じていただきたい。
  - 国が事業主体として実施する隠岐海峡東部への新たなマウンド礁設置の早期実現に向けて国と連携しながら取り組んでいただきたい。
- (2) 漁港の整備と有効活用について
  - 本県の漁業生産の安定化のため、拠点となっている漁港（和江、西郷、浦郷）について、不足する係留施設や外郭施設等を整備していただきたい。

# ALPS処理水の海洋放出に伴う 影響を乗り越えるための 漁業者支援事業説明会開催

去る11月10日、島根県民会館会議室において、ALPS処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業説明会を開催しました。

説明会は県内の各業種別団体長、県関係者、JFしまね各支所長ら50名が出席。主催者であるJFしまね岸宏代表理事会長、また経済産業省の松永明参与の挨拶に続き、(一社)漁業経営安定化推進協会の沼田健事務局長、緑川峻太課長代理より当該支援事業の「概要と実務対応について」説明があり、参加者からは活発な質疑が寄せられました。

要旨は次のとおりとなっておりますが、JFしまねでは〈省燃油活動等支援事業〉及び〈省資源・利用効率化等支援事業〉について既に申請を済ませており、漁安協等の検証の後、第三者委員会による審査にて採択を受ければ、最速で令和6年1月より事業が開始されることになっております。

事業目的・概要

【令和4年度補正予算額：500億円】

**事業目的**

我が国の漁業を取り巻く環境は厳しく、漁業生産量もこの30年間で半減し、新規就業者数の減少や高齢化、燃料等の基本コストの増大などの課題に直面しています。加えて、長期に亘るALPS処理水の海洋放出が生じたことで、全国の漁業者から漁業の将来への不安が増し、事業継続への懸念が生じています。

このため、長期に亘るALPS処理水海洋放出の影響を乗り越え、漁業者の創意工夫によって、持続可能な漁業継続を実現するための取組を支援することを目的とします。

**事業概要**

本事業では、ALPS処理水海洋放出の影響のある漁業者に対して、売上高向上又は基本コスト削減により持続可能な漁業継続を実現するため、当該漁業者が創意工夫を凝らして取り組むような活動への支援を行います。

① 新たな魚礁・漁場の開拓等に係る漁具等の必要経費への支援  
 ② 省燃油活動等を通じた燃油コスト削減に向けた取組に対する支援  
 ③ 漁業者による省資源化・有効利用等を通じた魚種等コストの削減に向けた取組に対する支援  
 ④ 省工本性能に優れた機器等の導入に要する費用に対する支援

〈省燃油活動等支援事業〉

省燃油活動等を通じた燃油コスト削減に向けた取組に対する支援

**【対象経費】**

第1取組の積算：人件費・用船料（定額）や、設備費・消耗品など1/2  
 第2取組の積算：50kL以下：13円/L・50kL～1,000kL以下：原則9円/L  
 1,000kL超または遠洋漁業者：原則9円/L  
（定額申請は参加漁業者ごとに個別に設定）

※申請（活プラン）単位で支援  
 ※申請（消プラン）単位全体で取組にかかった費用を積算した金額で支援します。

経理代行システムの  
メンテナンスをしようかな

例）取組が多い場合

取組額：45万円

燃油代：10万円  
 省燃油活動等支援事業：35万円

650,000円 → 605,000円

※燃油消費量より取組額を上回った場合は、50万円までしか受け付けません。

例）取組が少ない場合

取組額：15万円

燃油代：10万円  
 省燃油活動等支援事業：5万円

650,000円 → 645,000円

※燃油消費量より取組額を上回った場合は、50万円までしか受け付けません。

〈省資源・利用効率化等支援事業〉

省資源化・有効利用等を通じた魚種等コストの削減に向けた取組に対する支援

**1. 魚種の共同購入・利用を支援**

**【対象経費】** 1/10補助：魚種代

**【取組例】**

① 発泡スチロール製、段ボール製の魚種の共同購入・利用  
 ② 冷凍機、スライダック等の共同購入・利用

**2. 漁業者が共同で実施する先進的な取組**

**【対象経費】** 定額：人件費  
 1/2以下：魚種代、機械賃費、消耗品費  
 ※上限250万円

**【取組例】**

① 海洋生分解性の魚種利用  
 ② 温度管理可能な魚種利用  
 ③ トレパビティへの導入

注意喚起

省燃油活動等支援事業と省資源・利用効率化等支援事業の併用は、前年度の年間燃油消費量が50kL以下の漁業者に限る。なお、実施期間中に50kLを超えた場合において、期間中は事業継続できるが次回申請で申請不可となる。

# 新造漁船進水

このほど「漁船リース事業（水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業）」並びに「もうかる漁業創設支援事業」により、新造漁船が導入されました。海上安全のもと、浜を先導する担い手として、今後益々の大漁と一層のご活躍をお祈りいたします。

## 【漁船リース事業】

- ・進水 令和5年11月
- ・船名 第二十二事代丸
- ・使用者 有限会社事代丸
- ・漁業種類 中型まき網漁業（運搬船）
- ・主たる根拠地 島根県隠岐郡隠岐の島町
- ・船質 鋼
- ・総トン数 293トン
- ・推進機関 ジーゼル 2206kw



## 【もうかる漁業創設支援事業】

- ・登録 令和5年7月
- ・船名 第十一あけぼの丸（第1種漁船）
- ・第十二あけぼの丸（第2種漁船）
- ・所有者 株式会社浜田あけぼの水産
- ・漁業種類 沖合底びき網漁業、以西底びき網漁業（二艘曳）
- ・主たる根拠地 島根県浜田市
- ・船質 鋼
- ・総トン数（隻） 120トン
- ・推進機関（隻） ジーゼル 736kw



## JFしまね信用部からのお知らせ

JFマリンネットバンクご利用のすすめ

- 其の壹** パソコン・携帯電話・スマートフォンで24時間使えます
  - 其の貳** 窓口やATMへ行かなくても振込や残高照会ができます
  - 其の参** 高度なセキュリティで大切な情報を守り、不正利用を防止
  - 其の肆** ID/パスワード入力でのログイン機能に加え、生体認証でのログインが可能です
  - 其の伍** 振込・振替手数料が窓口扱いより大変お得です
  - 其の陸** ご利用手数料は無料です
- 詳しくはお近くの信用窓口または左記のホームページをご覧ください。  
<https://www.jfmbk.org/tsukau/netbank.htm>

## 新人職員紹介

○氏名 ○配属先  
 ①好きな言葉 ②趣味 ③ひとこと



瀬戸 竜之介  
本所総務部経理課

- ①実験 試作
- ②料理 勉強
- ③できることを増やしつつ、できることを全力で取り組みます



広江 いすき  
本所総務部総務企画課兼購買部購買課

- ①向上心を持って努力する
- ②ドラマ鑑賞
- ③何事にも全力で頑張ります



植木 俊太  
松江魚市場総務部総務課兼販売部販売二課

- ①一攫千金
- ②貯金
- ③感謝報告をメンバーに組合員の皆様の所得向上に努めたいと思います。よろしくお願いたします



松本 逸希  
指導部漁政課

- ①好きこそものの上手なれ
- ②散歩
- ③地元や組合員の方々に貢献できるよう努力していきます。よろしくお願いたします

# 島根県海の子絵画展開催!

去る10月13日(金)、島根県水産会館において、第43回島根県海の子絵画展の審査会が開催されました。

この絵画展は小学校児童を対象に、絵画を通じて島根の海や沢山の魚また漁業に対し、より一層深い関心を持つて親しんでもらうことを目的として開催されており、今年も県内47の小学校から371作品が寄せられました。

審査会の結果、最優秀賞の島根県知事賞に、出雲市立四絡小学校1年森山時季くん、益田市立益田小学校3年中島光麗さん、松江市立川津小学校6年松本深優さんが選ばれました。島根県知事賞の3作品は東京で開催される第46回全国海の子絵画展へ出展することとしています。そのほか、入賞作品は次の通り。



### 低学年の部

出雲市立四絡小学校 1年 森山時季

画題「大きなアジつり」

魚釣りの楽しさ、そしてその気持ちにも負けないほどの大きなアジを画面いっぱいに表現している。子どもらしい大胆な発想と、素直な感性で色調豊かに描かれたこの作品は、私たちの心に大きく感動を呼ぶ素晴らしいものになっている。



### 中学年の部

益田市立益田小学校 3年 中島光麗

画題「りょうしのおじさん」

釣った魚や緑の島、海の青、揺れる影など自然のあるがままを、美しい色調表現をふんだんに使って描いている点が素晴らしい。おじさんの仕事に関心をもって描いており、淡々と仕事をこなすおじさんの表情から、われわれも船員の一人であるかのような臨場感をもたらす作品となっている。

### 温かい真心に感謝

※漁船海難遺児を励ます島根県地方協議会へご寄付頂いた方々のご芳名を掲載し、厚くお礼申し上げます。

#### 【募金・香典返し】

- 福本秀人
- 島根県沿岸漁業振興課
- 日本漁船保険組合島根県支所
- 全国合同漁業共済組合島根県事務所
- 全国共済水産業協同組合連合会 島根県事務所
- 全国漁業信用基金協会島根支所
- JFしまね美保関支所
- JFしまね平田支所
- JFしまね大社支所
- JFしまね浜田支所
- JFしまね境港支所



### 高学年の部

松江市立川津小学校 6年 松本深優

画題「しじみ漁」

これはなんと素晴らしい。しじみが画面いっぱいに、しかも一つひとつが丁寧に色調をよく考え、まるでそのしじみがこの船の上で動いているかのような表現となっている。しじみ漁は朝早くから出掛けるようだが、特に朝日が輝くその様子が表現された、まさに知事賞に相応しい作品である。

◎魚や漁業に触れて子どもたちが楽しんでいる様子、また漁業という仕事に興味を持つて描いたであろう子供たちの気持ちが画面を通して伝わってくるようだった。子どもたちの豊かな想像力をもって、色調鮮やかに描かれた作品が多かったように思う。これからの漁業に明るい未来をもたらずである、そんな力作ばかりだった。

◎なによりこの機会に子どもたちが絵心をもつて、絵を描く楽しみや喜びを感じたことがとてもよいことだと思つ。参加された学校や生徒のみならず、また関係する方々の熱意に感謝する。

## 「受賞一覽」

### 農林中央金庫賞 (3名)

雲南市立木次小学校 1年 錦織光斗

松江市立津田小学校 4年 陶山碧彩

出雲市立四絡小学校 6年 鎌田絆愛

「田儀の海」

山陰中央新報社賞 (3名)

海士町立福井小学校 2年 大内一平

「あまの夏休み」

出雲市立湖陵小学校 4年 飯島陽葵

「おじいちゃんの船」

出雲市立平田小学校 6年 廣野遥香

「おじいちゃんの船と海」

漁業協同組合 JFしまね会長賞 (6名)

出雲市立湖陵小学校 1年 中尾彩乃

「火花がうつった海」

海士町立福井小学校 2年 寺田陽太

「うわあ、大きな魚だ」

出雲市立北陽小学校 3年 角田美彩

「きれいなお海」

松江市立島根小学校 4年 梶野心晴

「島根町のあみ仕事」

益田市立安田小学校 6年 大賀一颯

「僕の守りたい海」

出雲市立北陽小学校 6年 川上蒼太

「漁港の漁船」

佳作 (18名)

濱田市立国府小学校 1年 岩谷颯士

「おじいちゃんおさかなありがとう」

島根大学教育学部附属義務教育学校

「うみであそんでのしかったよ」 1年 田中杏奈

出雲市立大社小学校 2年 村上明

「ダイナミックなさかな」

出雲市立国富小学校 1年 黒崎楓夏

「うみのなか」

出雲市立中部小学校 2年 浅山結菜

「漁船」

出雲市立大社小学校 1年 糸原百笑

「ひのみさきとうだいにいったよ」

松江市立出雲郷小学校 4年 多久和寿々花

「フエリーから見た瀬戸内海の島々」

出雲市立大社小学校 4年 三原桜祐

「ひのみさきではじめてのつりをしたよ」

出雲市立四絡小学校 4年 山室明日花

「大田の海の波がかかるテトラポット」

松江市立揖屋小学校 4年 松浦莉子

「楽しい海」

出雲市立国富小学校 4年 小村時生

「フエリーに乗ったよ」

出雲市立国富小学校 3年 影山 縁

「海の中の生き物」

松江市立城北小学校 6年 小野莉子

「海」

出雲市立平田小学校 6年 曾田翔亜

「つり」

出雲市立長浜小学校 5年 石川詠菜

「おいしきしじみをあらがった」

出雲市立北陽小学校 6年 山本萌百花

「海と心」

出雲市立大社小学校 6年 須谷美玖

「こんにちば海」

雲南市立木次小学校 6年 玉利菜菜

「海の絵」

### 編集後記

本年度、待望の新人職員4名を迎えることとなりました。颯爽とした風が吹いておりますが、次代のJFしまねを担う組織人としてキラリ輝け！心よりエールを送ります。

(Y)

〒690-0007 島根県松江市御手船場町575番地  
漁業協同組合JFしまね「明るい漁村」係  
E-mail shidou@jf-shimane.or.jp FAX0852-27-6130

本誌のバックナンバーをPDFにてホームページで公開しています。  
【JFしまねWEBサイト】  
http://www.jf-shimane.or.jp/akarui.html

皆様からのご意見や感想、ひとこと随想、また漁村に関する話題などお待ちしております。郵便、メール、ファックスなどでお寄せください。